

# 妙高型 イ工ナプラン 教育のすゝめ

令和6年12月19日（木）



三度のメシより佐渡が好き！！！！

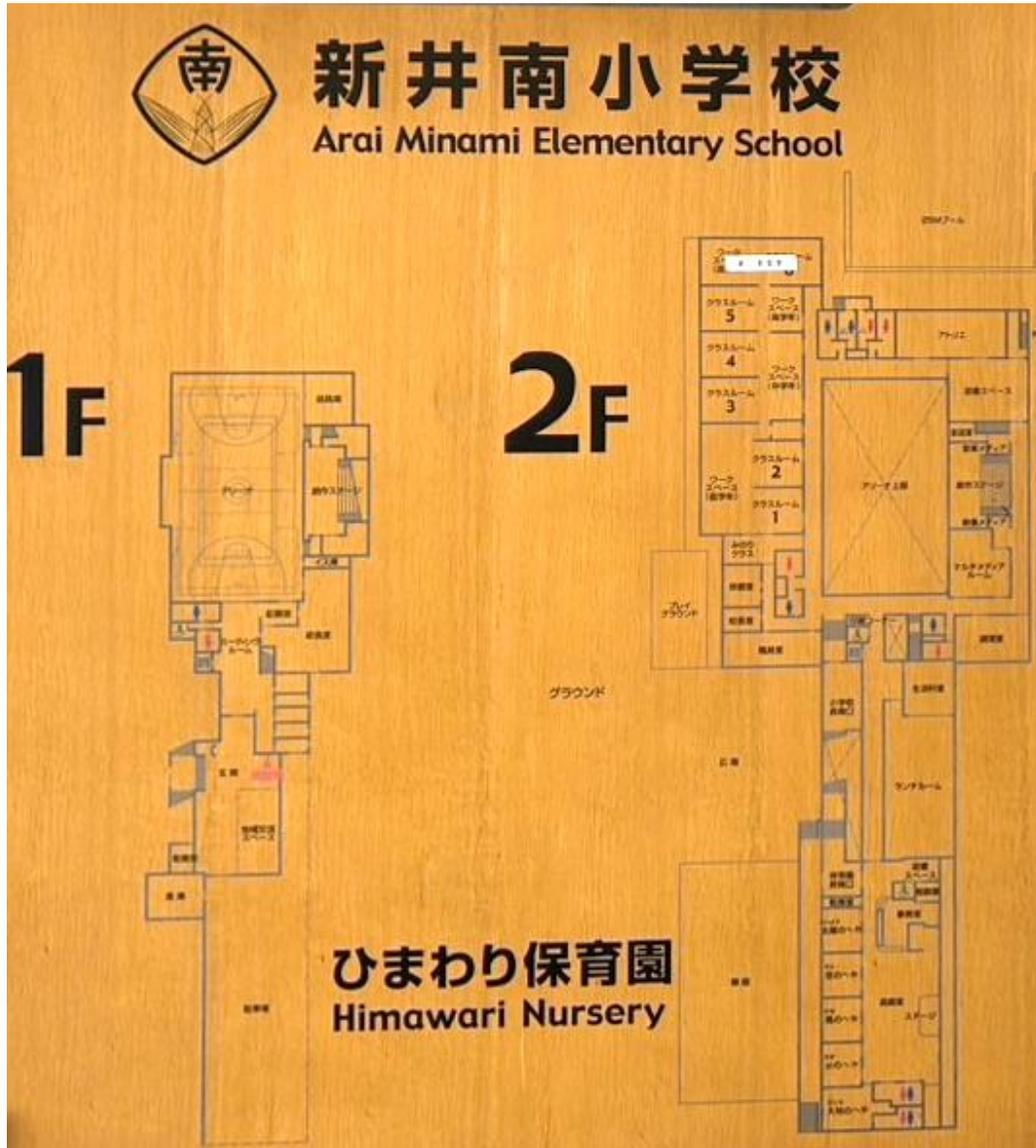
佐渡市議会議員

室岡ひろし



# ▼妙高市立新井南小学校・ひまわり保育園の校舎の特長

## ◆新井南小学校・ひまわり保育園の平面図



## ◆北陸建築文化賞受賞の校舎

### 妙高市立新井南小学校ひまわり保育園

第18回（2007年度）北陸建築文化賞受賞【作品】《from 新潟支所》

【設計】高橋政志（株式会社石本建築事務所）

#### <選評>

地域の小学校5校と保育園を統合してつくられたもので、地域での一貫した子育ての拠点となるとともに地域交流の核となることを目指した学校である。積雪寒冷地という環境条件に対して、中央に体育館と遊戯室を置き、その周りに教室群を配置するという全体構成は、内部空間の優れた温熱環境とともに周辺環境に合った美しい景観を達成している。また、音楽室とアリーナのステージ共有やワークスペースとクラスルームの関係は、計画的にも独創的である。陶芸作家を中心に地域の住民を巻き込んで作製された壁面レリーフや親子で作製した児童机など、地域と学校がつながっていくための活動を組み入れた特徴的な計画を実現している。

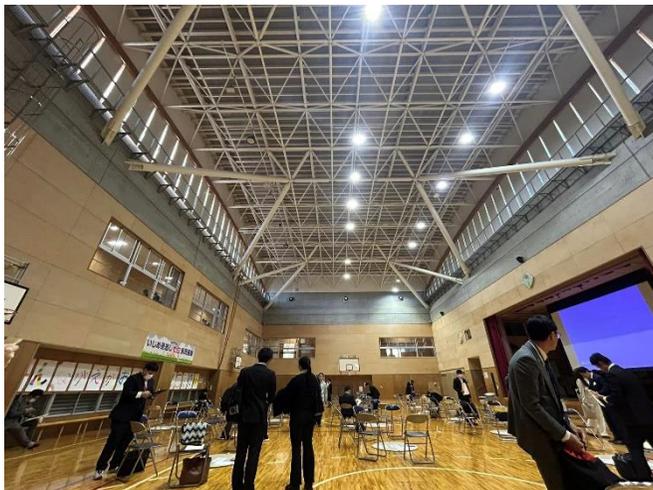


【出典】日本建築学会北陸支部オフィシャルサイト  
<http://hokuriku.aij.or.jp/h4award/entry-120.html>

# ▼妙高市立新井南小学校の写真（ハード：校舎の特長）



▲校舎の外観、駐車場からのアクセスを容易にしている



▲体育館。ステージ脇には昇降口が設けられ、2階廊下から見渡せる



▲廊下には、横長のベンチが備え付けられており、座ることもできる



▲図書館スペース。廊下の延長にありスムーズに移動できる



▲教室。通常のスタイルでの授業も行うことができる

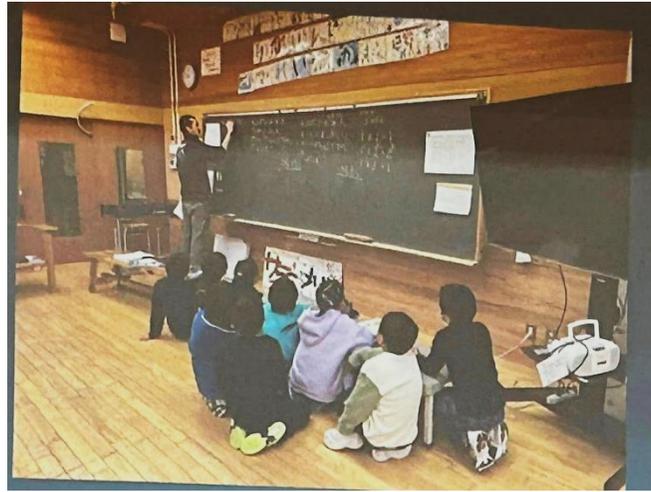


▲デン。秘密基地的なこじんまりとした空間で学ぶこともできる

# ▼妙高市立新井南小学校の写真（ソフト：授業の様子）



▲朝のミーティングの様子。それぞれのやることを共有（提供画像）



▲黒板を使用した一斉授業。集中して先生の話聞く（提供画像）



▲机をくっつけてのグループ学習や個人ブースの集中学習が同時並行



▲タブレットを活用しての調べもの児童同士が協力する光景が多い



▲椅子を机にして一人で学習に集中する児童の様子



▲デン。秘密基地的なこじんまりとした空間で自由に学習する様子

## 少高型エトプラン教育研究会 リレートーク

### R3~ R7本格実施 研究概要

田中先生

今この瞬間が大切

これまでのおよみ

R3 エトプラン教育

対話の場

子ども・職員が使える

目の前の子ども大切に

R5 3学年合同の学び

R6 明日の南小×3校

自由な度 変わること

目的はなに → 話してあげる

### R6~ 先生 学年の子供たち

岡澤先生

先生迎える会

何のために何をする?

子どもがきめる

共有は → 幸せか?

みんなの力で

自由な度

自由な環境

みんなのふりかえり

保三者

親の喜びは?

友人同士

安心

宿題

自由放課後

学びがたのしい

【出典】みらいずworks作成：グラフィックレコーディング「リレートーク編」

2024年12月作成 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

# ▼グラフィックレコーディング「総括編」

2024.11.12 (火)  
@新井南小学校

## 子どもたち

新井南小どしがすき  
楽しいのはな時?

自由進歩  
自主的勉強  
他の学年と協力してできる  
たのしいから通ってる  
学校内安全  
自然豊か

学年関係なく問題解決  
友人と遊ぶ  
おもしろい所話  
困ったときは? 誰に話せる?  
一旦自分で考える  
親に言う → 先生に相談

体力  
心も強くなる  
年下年上積極的に話す

## 総括

陸川  
陸川  
陸川

自挑戦 お子で育てる!  
なやまかっこ好  
ドリ作かたこて!

よさ... 新たな学校へ  
みなあす 同期直す  
1人1人 主話に

何のために学校がある?  
知識 + 生きると = 幸せ  
↓ 知識尊重 / 子どもの幸福  
独自の学校づくり  
市教委 発表 研究 周知  
先生の役割  
教える → 支援者  
子どもの環境づくり

信頼の中心 成長!  
関係のいい  
誰かの役に立つ

関係から結果へ  
なぜと問う、幸せの  
自分たちでつくる  
いい強世界観  
適度な干渉  
誰かの役に立つ

仲間  
なにか楽しい  
スズル  
Foliage  
リスノケ

時間  
空間

幸せを実感できる  
結果が → 言葉にできる  
関係が 個々  
子どもははじめる  
なぜするのか?

行動から結果へ  
手法でなぜと問う

【出典】みらいずworks作成：グラフィックレコーディング「総括編」

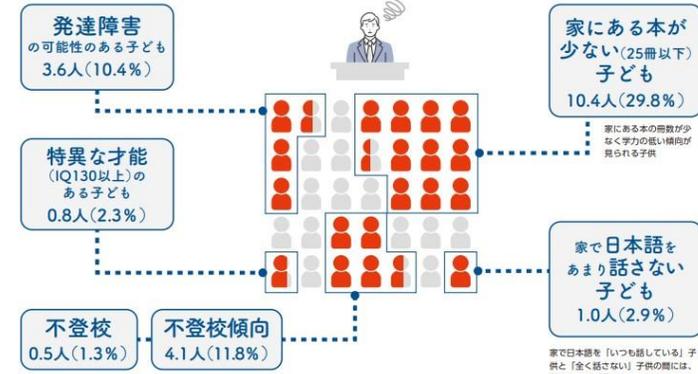
# BE THE PLAY ER

自分で考え  
動く 生み出す  
そして社会を変える

加賀市 学校教育ビジョン

## 教室には多様な子どもが集まっています

子どもの多様化が進んでおり、下記のように数字として表れる子ども以外にも、授業の理解度に差があったり、学びやすい方法もそれぞれ違ったりと、子どもはみんな違います。 小学校 35人学級の場合 (全国値)



※内閣府 総合科学技術・イノベーション会議「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」を一部改変

### なぜ今、教育を変えるのか？

「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す力」  
「問題発見力」「課題解決力」「革新性」  
これからの時代に求められる力です。  
これからは、「人と違うこと」が強みになる時代になります。

旧来型の画一的な教育は、均質な人材育成に寄与し、高度経済成長に大きく貢献した一方で、同調圧力を生みやすく、人との違いが目立ち、失敗することを嫌い、クリエイティブな発想や個性が発揮しづらい環境を生み出したことも事実です。これは次の時代が求める力を生み出す環境とは真逆にある状況です。

そして、子どもは「一人ひとりみんな違う」ということ。同じクラスにいても、学びのスピードも、興味関心も、得意不得意も、特性もみんな違います。「みんな一緒に」「みんな同じことを」「同じ方法で」の学びは限界に来ています。

凸凹の凹を克服することばかり強いていると、学びの楽しさには出会うことができない。自分はこれが好き、これは得意、自分にはこんないいところがある。子どもたちが、自分で考え、動き、そして他者と学び合う。そうやって、子どもたちが、好奇心いっぱい夢中になれる時間を増やしていきたい。

そろえる教育 から 伸ばす教育へ  
一人ひとり、それぞれの可能性を最大限開花させる教育へ  
そして、子どもの「今」も「未来」も幸せにする。

そんな教育を、加賀市は本気で目指していきます。

加賀市教育委員会

〒922-8622 石川県加賀市大聖寺南町二 41 番地 TEL0761-72-1111(代表)

詳細版はこちら



23.1.001230

加賀市学校教育ビジョン  
[ダイジェスト版]  
2023 - 2025

## 加賀市の教育が大きく変わります

自分で考え  
動く 生み出す  
そして  
社会を変える

子どもの「今」も「未来」も幸せに  
well-beingを実現する学びの改革



**PROJECT 03 未来は自分で創る**

#探究 #STEAM #プログラミング  
#デジタルシチズンシップ

多様な人たちと意見を交わし、企業、地域、大学など様々なバックグラウンドを持つ大人たちと一緒に学び、実社会・ホンモノに触れ、探究する。問いを立て、課題解決をする学びを進めます。

**小中一貫型  
加賀STEAM教育プログラムの実施**  
加賀市の強みであるプログラミングを生かして、小中9年間一貫型のSTEAM教育プログラムに刷新します。

- 1 課題発見
- 2 議論・探究
- 3 実践・試行錯誤
- 4 課題解決

横立中学校のSTEAM学習のまともです。プレゼンテーションの様子はこちら

STEAM教育とは5つの分野の頭文字をとった造語です。単に理数やテクノロジーの学びだけでなく、分野の枠にとらわれず、創造性や発想力を組み合わせ、課題解決に挑んでいく探究型の学習です。AIやテクノロジーの進展を見据えた新しい教育として、注目されています。

**PROJECT 01 学びを変える**

#ICT #個別最適な学び #協働的な学び #空間デザイン #遠隔協働 #インクルーシブ

教師による一方向の一斉授業スタイルは、異なる一人ひとりに合う学びを届けることには限界があります。一人一台のパソコンをフル活用して、個々のスピードに合わせて、自分のペースで自分から学ぶ。そして沢山の人と対話して、助け合って共に学ぶ。教室の空間デザインも工夫し、好奇心と夢の中であふれる、もっと自由にクリエイティブな教室へ。「そろえる」教育から一人ひとりを「伸ばす」教育へと変えていきます。

**今までは…**  
「みんな一緒に 同じことを 同じ方法で」

**これからは…**  
「自分のペースで自分で学ぶ」  
「学び合って、助け合って、共に学ぶ」

「ぼつぼつしているのが苦手だな…」  
「簡単すぎて退屈が苦痛…」  
「全くわからない、寝よう」  
「授業についていけない…」  
「文字が読めない…」

**PROJECT 02 誰一人取り残さない**

#不登校 #サードプレイス #教育支援センター #発達支援

不登校の子どもの数は年々増加し、10人に1人以上の小中学生が「学校に行けない・行きたくない」という状況です。誰一人取り残さず、学びが届くような不登校支援の新たな仕組みを作ります。また、増加している発達支援が必要な子どもにとって、よりよい教育環境・支援につなげるため、新たに大学や専門機関との連携を始めます。

**教育総合支援センター 移転・リニューアル**  
教育総合支援センターを旧三木小学校に移転し、地域の人たちと一緒に学校になじめない子どもたちが安心して過ごせる場所を作ります。また、不登校支援の拠点として機能強化し、全面リニューアルします。

**学校内サポートルームの設置**  
「教室に行くのがしんどいな」そう思ったとき、教室以外で過ごせる場所、学べる場所を学校内に設置し、早期の支援につなげます。

**PROJECT 04 地域と一緒に**

#コミュニティスクール #部活動地域移行  
#学校の連絡デジタル化 #広報・発信

加賀市の強みである地域の力を生かして、地域と一緒に子どもを育てる環境づくりを進めます。

**コミュニティスクールへ**  
学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に学校や子どもを支えていく仕組みであるコミュニティスクールに全校移行します。

**中学校部活動の地域移行**  
2023～2025年度を「改革推進期間」と位置づけ、早期に地域移行の実現を目指すという国の方針のもと、加賀市でも土日の部活動から段階的に地域移行を進め、地域と一緒に子どもの活動の場を作っていきます。

2022年度 準備年度	2023年度 計画年度	2024年度	2025年度
		土日の部活動を段階的に地域移行	

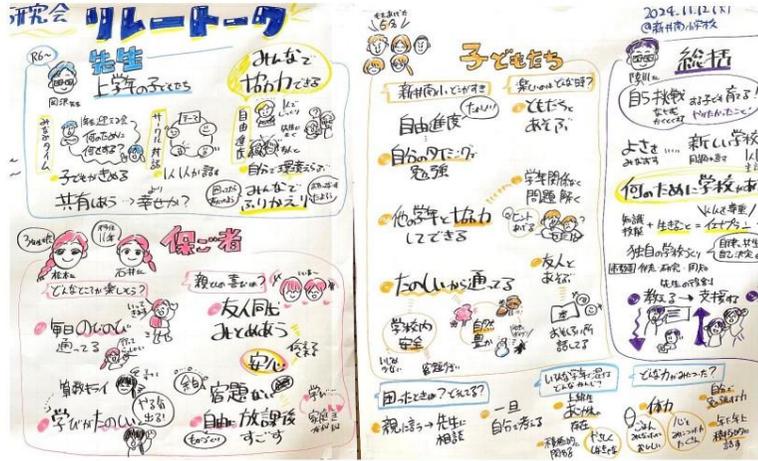
**学校・保護者間の連絡手段のデジタル化**  
学校からの情報発信やアンケートの実施、家庭からの欠席連絡などを迅速・確実に行うため、アプリを導入し、双方の利便性を高めます。

**保護者・市民向けの教育講演会・広報**  
新しい教育への理解を進めるため、講演会の実施やSNS等を通じた情報発信、教育改革の進捗の広報も進めます。

## ◆妙高型イエナプラン教育（移行期）の軌跡 其の六◆

11月12日（火）、当校で「妙高型イエナプラン教育」研究会を開催。

県内外から100名を超える教育関係者が集まり、午前は授業公開（単元内自由進度学習）、午後は全体会（取組の紹介、リレートーク、グループ協議）を行いました。リレートークでは、学校職員の他に保護者や子どもたちも参加し、それぞれの立場で南小の取組について意見や感想を発表していただきました。※発表内容は以下参照



授業公開      リレートーク（子どもたち）の様子      グループ協議

グループ協議の中で、参加者の方から「日々のサークルタイムや異学年との生活が、子どもたちの学習に生きていますね。」という言葉もいただきました。3年間、子どもたちと保護者の皆さんと一緒にやってきた「学習の形」「学級の形」が評価してもらえたことに一つの成果を感じました。これからも、子どもたちの「どうしたいか、どうなりたいか」を大切に、話し合いながらよりよい自由進度学習、居心地の良い学級をつくっていきます。（富永 晴美）

研究会では、当校の取組を広く発信するとともに、参加者の皆様から多くの貴重なご意見をいただきました。今後、校内研修で総括を行い、子どもが主語の学校づくりを更に進めてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 新井南小学校

所在地 妙高市大字除戸 1887 番地  
電話 75-2222 FAX 75-2505

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araimi-s/otavori/>



### 1 学校の概要

- (1) 創立 昭和36年4月1日
- (2) 教職員 校長 丸山文雄 教頭 関谷俊彦  
教諭9名 義塾教諭1名 主事1名  
非常勤講師1名  
複式学級対応講師1名 ALT1名  
用務員1名  
特別支援教育支援員3名  
調理員2名

### (3) 学級編成

学 年	学 級	男	女	合 計
第1学年	1	3	4	7
第2学年	1	1	7	8
第3学年	1	8	2	10
第4学年	1	4	3	7
第5学年	1	2	3	5
第6学年	1	7	6	13
特別支援	2	6	1	7
合 計	7	31	26	57

### (4) その他

平成28年4月から小規模特認校  
令和4年4月から授業時数特例校  
令和6年4月から妙高型イエナプラン教育試行期間

### 2 学校経営の基本構想

- 対話を通して笑顔で取り組む「子どもが主語の学校づくり」
- (1) 「いのち」を大切にする教育の推進
- (2) 子どもの主体性を発揮した教育活動の展開
- (3) 家庭・地域・ひまわり保育園・官民等との連携を深め、信頼に応える教育活動の推進
- (4) 資質・指導力の向上を目指す研修の充実

### 3 教育目標

- 「考える子 やさしい子 たくましい子」

### 4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標
  - 自ら学ぶ子
  - 友達と仲よく行動する子
  - 健康を考え、生活する子
- (2) 努力事項
  - ・ 学びに向かう力の育成
  - ・ 人間関係形成能力の育成・向上
  - ・ 基本的学習習慣の確立（特に、メディア選択や活用時間の自己決定力の育成）

### 5 研究計画

- (1) 研究主題
  - 「みんなが幸せになる『南部の小学校』」
  - ～自分から学び、自分らしく育つ～
- (2) 主題設定の理由
  - 令和4年度、保護者・地域住民・教職員が子どもの幸せについて話し合い、本研究主題が生まれた。自分らしさを大切に、互いを認め合い、自分の人生を切り拓き、全ての人が幸せになれる社会の創り手となる子どもが育つ学校づくりを目指す。
- (3) 研究内容
  - 今年度は、慶應義塾大学院前野隆司教授の提唱する「幸せの4因子」を活用し、「みんなが幸せになること」について考察し、教師・学校の在り方、教育観について研究を深める。
  - ① 教育・学校。教師の在り方についての研修
  - ② 教育活動についての研修
  - ③ やりがいを感じながら児童とかかわるための働き方改革

### 6 ESD推進計画

- SDGs11・15を切り口として、学校・家庭・地域で見つけた身近な課題を地球規模で考え、解決のために自分ができることを考え行動する子どもを育てる。
- (1) 「みなみタイム(生活科・総合的な学習の時間)」を中核として教科横断的に学びを展開する。
- (2) 子どもが地域や地域住民のよさを実感することを目指し、地域住民と共に学ぶ活動を取り入れる。
- (3) SDGs 達成に向けた価値観と行動の変容を目指し、学習過程に体験的活動を積極的に取り入れる。

### 7 主な行事の予定

- 4月：始業式、入学式、第1年生を迎える会
- 5月：全校縦割り班遠足、中学校区学校保健日
- 6月：避難訓練
- 7月：終業式
- 9月：人権教育、同和教育
- 10月：Southern Fest.
- 11月：マラソン大会、6年花壇球根植え
- 12月：いじめ見逃しゼロ
- 1月：始業式、避難訓練、2月：鼓笛移杖式
- 3月：6年生を送る会、



【出典】妙高市立新井南小学校学校だより11月号

[http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araimi-s/otavori/index\\_big\\_70.html](http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araimi-s/otavori/index_big_70.html)

2024年12月作成 三度のメシより佐渡が好き!!!

【出典】妙高市立新井南小学校概要

[https://drive.google.com/drive/folders/1Fkfdixbr7b7EPvoP-WOTh2VN63PsF\\_J6](https://drive.google.com/drive/folders/1Fkfdixbr7b7EPvoP-WOTh2VN63PsF_J6)

©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

本日の気づき・学び by しろ

みんなの幸せを実現できる

ちょうど良い規模の「公立」小学校を  
やわらかい公開研で共有しており、  
次に活用できるすばらしい体験⑨

すごすぎて誰にも「イエナプラン」汗